

# 社協だより

## 新年のご挨拶

豊前市社会福祉協議会

会長 谷崎 勝



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに令和3年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は本会の事業推進にご支援・ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年はまさに新型コロナウイルスに翻弄された1年でありました。3波に及ぶ感染拡大により医療現場は医療崩壊が起きかねない状況に追い込まれ、日本の経済は計り知れないほど深刻な打撃を受けました。

加えて、私たちの日常生活にも少なからぬ影響がもたらされ、全く先行きの見えない中での不安な生活を余儀なくされたところであります。

このような混とんとした状況の中で、本会といたしましても例年何の疑問も持たずに実施できていた事業が中止に追いやられるなど、非常に大きな影響を受けました。また、一方では、事業収入の大幅な落込みや給料の大幅なカット、さらには意図せぬ離職などに起因する生活面での相談が急激に増えた1年でもありました。1日も早い終息を願うばかりであります。

新しい年を迎えたが、明るい展望が開けているとは決して言い難い状況であります。しかし、このような状況にあるからこそ、関係機関、関係団体等としっかり連携を図りながら、地域福祉の増進に努めてまいりたいと存じます。

結びに、皆様方のご健勝・ご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

### 役員紹介

豊前市社会福祉協議会

理事・監事・評議員 敬称略

会長	谷崎 勝 (学識)
宮崎 和子 (民児協)	浅井 孝 (ボランティア団体)
中村 幸司 (ボランティア団体)	宮房 大久保 尚 (老連)
杉田 洋子 (学識)	山田しのぶ (福祉専門機関・団体)
香月 健二 (学識)	佐々木 元永 啓子 (福祉行政)
竹本 正昭 (保健衛生行政)	佐々木 中村 勇希 (商工会議所)
菅原 竹本 賢一 (医師会)	北代 佐々木 誠 (保健衛生行政)
尾家 光将 (福祉施設)	前田 竹本 貞敏 (民児協)
崎山 武雄 (福祉施設)	宮崎 浩巳 (福祉施設)
前田 剛 (福祉施設)	森本 相良 (福祉施設)
武雄 (福祉施設)	牧野 一博 (学校教育)
剛 (福祉施設)	泉 皓巳 (福祉施設)
(福祉施設)	森本 泉 (社会教育)
(福祉施設)	高瀬 渡邊 安東 (社会教育)
(福祉施設)	東 東 渡邊 倉松 (心身障害児者親の会)
(福祉施設)	安東 静子 (母子寡婦福祉会)
(福祉施設)	牧野 秀年 (社会教育)
(福祉施設)	森本 秀俊 (社会教育)
(福祉施設)	高瀬 忠通 (学識)
(福祉施設)	東 淳之 (学識)
(福祉施設)	東 一博 (学校教育)
(福祉施設)	東 静子 (心身障害児者親の会)
(福祉施設)	東 淳之 (学識)

## 角田地区ふれあい学級

# “住み慣れた地域でいつまでも暮らすためには” 地域支え合いワークショップの開催！

現在、認知症高齢者の増加の伴い、家族や身近に認知症の人がいるなど、認知症に接する機会も増えています。よって今回の“角田地区ふれあい学級”では「認知症」をテーマとしたワークショップを開催。講師として豊前市地域包括支援センター(保健師)山本美奈さんを招き、認知症の症状や認知症の方の接し方、認知症予防等について教えていただきました。また、グループワークでは住み慣れた地域でいつまでも暮らすために「個人」や「地域」ができることについて意見交換をおこない、これからの角田地区の支え合い活動と一緒に考えました。

(角田地区担当生活支援コーディネーター 橋本)

【開催日】11月26日(木)10:00~11:30

【場 所】角田公民館(多目的ホール)

【参加者】23名(角田地区)



講 話 「認知症について」  
講 師 豊前市地域包括支援センター  
保健師 山本 美奈 氏



### グループワーク(意見交換)

- ①テーマ「認知症にならないために、私たちができること」
- ②テーマ「認知症になっても安心して暮らせる地域とは」

各グループからの意見として、「認知症予防の生活習慣(運動や食事)に気を配る」・「近所の声かけをおこなう(積極的関心を持つ)」・「家から出る機会(場)をつくる」・「相談窓口(関係機関)を知っておく」・「地域の中で学ぶ機会を増やす」という意見が出ました！

この意見は角田地区地域づくり協議会につなげ、今後の取り組みの参考にさせていただきます。



### グループ発表





## 福祉教育推進事業 青豊高校 出前授業実施

福岡県立青豊高等学校「ボランティア入門」にて、多彩な講師を迎えて出前授業を実施しました。

9月29日  
(火)

### 豊前市手話の会 ひなたぼっこ

「ひなたぼっこ」の会長・村田さんと、会のメンバーで聴覚障害のある高野さんから、ボランティアを始めたきっかけ、当事者が日々感じること、伝えたいことを話してもらいました。



10月13日  
(火)

### 京築障がい児プロジェクト jump☆じゃんぱ

講話やグループワークを通して、障害児を持つ家族の視点から、音楽は障害の有無に関係なく誰もが楽しめるもの、普通という概念は一方的な見方であり、障害があるからと決めつけないでほしいと、生徒たちに訴えました。



10月27日  
(火)

### たいwaーず

普段から「対話」という土壤を育む活動をしている「たいwaーず」を迎え、対話とはどういうことか話してもらい、実際にグループに分かれて、生徒たちに対話の場を体験してもらいました。



11月10日  
(火)

### グリーフ トライアングル

大切な人を亡くしたり、喪失感を抱えた人に寄り添い「生きるとは何か」命について考える活動をしている「グリーフトライアングル」を迎え、教室と講師をオンラインでつなぎ、講話やワークを通して、命の大切さ、1人ひとりがかけがえのない大切な存在であることを伝えました。



## 新型コロナウイルス感染拡大による 生活福祉資金(特例貸付)の ご案内

低所得世帯等に対して、生活費等の必要な資金の貸付け等を行う生活福祉資金貸付制度を実施しております。

本制度につき、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、貸付の対象世帯を低所得世帯以外に拡大し、休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた、緊急小口資金等の特例貸付を実施します。

特例貸付の具体的な内容、お問合せ、  
ご相談は、下記の問合せ先へお願ひします。



**注意)**

この制度は、給付金、補助金、助成ではありません。貸付制度ですので借入金は将来返済の必要があります。  
借入申込みの受付は、令和3年3月末までです。

**[問合せ] 豊前市社会福祉協議会  
☎(0979) 82-3391**

## 豊前市社会福祉協議会へ ご寄附ありがとうございました

いただきましたご寄附は、豊前市福祉向上のため  
大切に活用させていただきます。

11月27日～12月17日までにいただいた寄附者を記載しております。

### 香典返し寄附金

故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

- ◆ 八屋 古川 哲也 様 亡 利子 様
- ◆ 畑 吉川 恵子 様 亡 正 様
- ◆ 久路土 山崎三三生 様 亡 一雄 様
- ◆ 赤熊 川口 昌治 様 亡 松枝 様
- ◆ 荒堀 上田 京子 様 亡 操 様
- ◆ 大西 伊藤美喜子 様 亡 光則 様
- ◆ 三毛門 倉垣 輝子 様 亡 靖 様

## 生活にお困りの方を支援する相談窓口です (生活困窮者自立相談支援事業)

- ・生活に困っている
- ・収入が少なく家計が厳しい
- ・仕事が見つからない
- ・働きたくても、働けない
- ・住む場所がない
- ・失業し家賃が払えない
- ・相談できる人がいない
- など

経済的な悩みとともに、日々の生活で悩みがあり、どこの誰に相談すればよいのかわからない方、一人で悩まず、まずはお住まいの相談窓口にお問い合わせください。

**[問合せ] 豊前市生活困窮者自立相談支援センター（豊前市社会福祉協議会内）**

**電話 0979-82-3391**



## 豊前の人口と高齢化率 (令和2年12月1日現在)

●豊前市の総人口 **24,964人**

●0歳～14歳の人口 **2,883人 (11.55%)**

●15歳～64歳の人口 **12,997人 (52.06%)**

●65歳以上の人口 **9,084人 (36.39%)**

※内75歳以上の人団 **4,804人 (19.24%)**

赤十字はみなさまの「気持ち」を  
被災地につなげます

### 東日本大震災に対する義援金

寄 託 者	寄 託 金 額
東八市フリーマーケット一同 様	1,078円

みなさまからお寄せいただいた温かい  
お気持ち(義援金)は日本赤十字社を  
通して被災地へお届けします。  
ご協力ありがとうございました。

日本赤十字社福岡県支部豊前市地区